

報道関係各位

2025年2月28日
株式会社日本アクア
(東証プライム 1429)

「等級 6.5+α のすすめ | 気密なき断熱は無力なり」

東京大学大学院 前真之准教授 監修、高断熱・高気密住宅の重要性を説くパンフレットを制作

現場発泡ウレタン断熱材シェア No.1 の株式会社日本アクア（本社：東京都港区、代表取締役社長：中村 文隆）は、東京大学大学院の前真之准教授監修のもと、高断熱・高気密住宅の重要性を説くパンフレット「等級 6.5+α のすすめ | 気密なき断熱は無力なり」を制作しました。



東京大学大学院
前真之准教授
監修

気密で変わるこれからの住まい

等級 6.5+α のすすめ

前真之准教授が推奨する初期費用とランニングコストのバランスが優れた断熱等級 6.5 や「+α」として**気密を確保**することの重要性を解説。全 12 ページ。



『等級 6.5+α のすすめ』は、日本アクアのホームページからダウンロード可能です。冊子をご希望の方は、営業担当までご連絡ください。

3つの熱損失とは



断熱性能だけでは評価されない「漏気」や「換気」も考慮したランニングコストを掲載。気密の効果を生主に訴求することができます。

断熱等性能等級別断熱仕様一覧

(5・6・7地区)

等級	付加断熱	断熱材	開口部	気密性	ランニングコスト
7	付加断熱あり	ウレタン	断熱サッシ	高气密	低
	付加断熱なし	ウレタン	断熱サッシ	高气密	低
6.5	付加断熱あり	ウレタン	断熱サッシ	高气密	低
	付加断熱なし	ウレタン	断熱サッシ	高气密	低
6	付加断熱あり	ウレタン	断熱サッシ	高气密	低
	付加断熱なし	ウレタン	断熱サッシ	高气密	低

断熱等級 6.5 を含む各断熱等級の仕様一覧。付加断熱を使用しない等級 6 をはじめ、具体的な断熱材や開口部の詳細を示しています。

本パンフレットでは、断熱等級 6 と 7 の中間である「等級 6.5」が、イニシャルコストとランニングコストのバランスが最適であることを解説。また、高断熱化とともに重要性を増す気密性についても言及し、具体的な施工方法や C 値（住宅の気密性能を表す数値）の考え方をまとめています。

さらに、断熱等級別に具体的な施工事例を提示しており、工務店・ビルダー向けに断熱仕様の選定や施主への説明に役立つ内容となっています。本パンフレットには、アクアフォームの施工事例やその効果、気密測定的重要性についての情報も盛り込まれており、住宅性能向上のための実践的なガイドとして活用できます。

日本アクアは、今後も高性能住宅の普及に貢献すべく、断熱・気密の啓発活動を推進してまいります。本パンフレットは、弊社ホームページよりダウンロード可能です。

以上

【会社概要】

会社名：株式会社日本アクア

上場市場：東京証券取引所 プライム市場（証券コード：1429）

代表者：代表取締役社長 中村 文隆

所在地：東京都港区港南2丁目16-2 太陽生命品川ビル20階

設立：2004年11月

事業内容：建築断熱用硬質ウレタンフォーム「アクアフォーム」販売・施工
住宅省エネルギー関連部材の開発・製造・販売

URL：<https://www.n-aqua.jp>

【お問い合わせ先】

株式会社日本アクア 管理本部 経営企画部 小室 昌彦

電話番号：03-5463-1117

Eメール：m.komuro@n-aqua.com